

平成27年度 事業計画

I 国際化促進事業

1 国際交流事業

計画額 3,442 千円

(1) 草の根国際活動助成

民間レベルの国際交流、国際協力及び多文化共生活動を奨励するため、国際交流団体等の自主的な活動に対し助成を行う。

助成額 1団体につき1事業限度額10万円（ただし、多文化共生事業は20万円まで）

(2) とやま国際草の根交流賞

国際交流や国際協力の活動を草の根レベルで実践している個人、団体を顕彰し、県民の国際交流や国際協力に対する意識啓発、向上を図る。

表彰者数：10件程度

(3) 国際交流フェスティバル

国際交流や国際協力などに取組む県内の団体の活動状況を紹介するとともに、県民が異文化に触れ合う機会を提供する。

時期 11月8日（日） 場所 CIC

主催 とやま国際センター、JICA北陸、富山市民国際交流協会が組織する実行委員会

2 国際協力事業

計画額86,270 千円

(1) 海外研修員等の受入

ア 海外技術研修員

開発途上国等に対する技術協力の一環として、富山県が受け入れる海外技術研修員の滞在中の日常生活等を支援する。

受入予定	ブラジル	1名
	ロシア	1名
	中国	2名（うち短期1名）

イ 自治体協力交流員

富山県が受け入れる中国からの公務員に対して、滞在中の日常生活等を支援する。

受入予定	中国	1名
------	----	----

ウ 多文化共生推進研修員

ブラジル人児童の学習支援のため、富山県が受け入れる多文化共生推進研修員の滞在中の日常生活等を支援する。

受入予定	ブラジル	1名
------	------	----

(2) 外国人留学生への支援

ア 県費留学生の受入

富山県が県内の大学へ受け入れる留学生の滞在中の日常生活等を支援する。

受入予定	ロシア沿岸地方	1名
	中国遼寧省	1名
	南米移住者子弟	1名
	遼寧省（県立大学）	1名

イ 私費留学生への支援

㊦ 富山県国際交流奨学金の交付

県内の大学、短大、高等専門学校に在籍する成績優秀な私費留学生及び専門学校で日本語を学ぶ学生に対し、奨学金を支給する。

○ 私費留学生（国費、県費留学生、他の奨学金受給者を除く。）

・大学等	（在籍1年目）	月額10,000円	支給予定	35名
・大学等	（在籍2年目以上）	月額50,000円	支給予定	23名

○ 日本語教育機関の学生 月額 3,000円 支給予定 112名

㊧ 国民健康保険の加入助成

私費留学生及び日本語教育機関の学生の国民健康保険加入促進のため助成金を交付する。

・助成額	年額12,000円
・支給予定 私費留学生	327名
日本語教育機関学生	112名

㊨ 留学生の住宅確保への支援

留学生が安定した居住環境で生活が営めるよう、住宅の賃貸借契約を行う際にとやま国際センターが連帯保証人となる。

新 ウ 留学生による富山の留学ライフPR事業

外国人留学生が留学生活や富山県の魅力をウェブサイトやFacebook ページなどを活用して海外に向けて情報発信する事業を支援する。

新 エ アセアン留学生の受入

県内企業と連携して留学から就職までを一体としたアセアン留学生の受入れを図る。

受入留学生 5名 受入期間 平成27年10月～平成30年3月（2年6ヶ月） 予定

(3) NOWPAP支援協力事業

国際連合の機関であるNOWPAP（北西太平洋行動計画）地域調整部富山事務所の活動が円滑に運営されるよう支援する。

(4) 青年海外協力隊事業への支援

JICAが実施する青年海外協力隊をはじめとするJICAボランティア事業の帰国報告会の開催を支援する。

(5) 海外移住者及び関連団体への支援

在外県人会活動費補助金	1,270千円（ブラジル、アルゼンチン、ペルー）
南米協会活動費補助金	1,000千円
海外移住家族会活動費補助金	4,847千円

3 多文化共生事業

計画額 7,088千円

(1) 外国人のための生活相談等の実施

ア 生活相談

県内で暮らしている外国人が母語（6言語）で相談できるよう、外国人の生活相談員や国際交流員が面談又は電話で対応する。

英語	月曜日、水曜日、金曜日
ポルトガル語	月曜日、火曜日、水曜日、木曜日、金曜日
中国語	水曜日、金曜日
ロシア語	水曜日、金曜日
韓国語	水曜日

イ 電話通訳サポート

生活相談をリアルタイムで解決できるよう三者通話機（NTTトリオフォン）を活用し、具体的な照会先となる関係機関等と相談者の通訳サポートを行う。

(2) 外国人のための日本語学習支援ボランティアの育成・支援

ア 日本語ボランティア養成講座

外国人の日本語学習を支援するボランティア養成のための講座を開催する。

時 期 5月～8月 全10回 定 員 20名程度 場 所 環日本海交流会館

イ 日本語教室アドバイザーの派遣

地域日本語教室へ日本語教育専門アドバイザーを派遣し、安定的運営とスキルの向上を図る。

4か所程度 延 50人

ウ 日本語ボランティアの研修会等参加費用の支援

地域の日本語教室で活動している日本語ボランティアが、自己研鑽のため文化庁等が行う研修会に参加する場合にその参加費用の一部を助成する。

新 (3) 外国人住民のための日本語読み書き教室

県内在住外国人の日本語の「読み書き」向上を図るための教室を開催する。

時 期 9月～1月 月2回程度 全10回 定 員 20名程度 場 所 環日本海交流会館

(4) 外国語の絵本よみきかせ親子の会の開催

外国語の絵本の読み聞かせを通して、外国籍の子どもには母国語や母国の文化に接する機会を提供し、日本人の親子に対しては海外の文化に出会う機会を提供する。

毎月 第2土曜日 英語、中国語、ポルトガル語、ロシア語の絵本などを利用

場 所 環日本海交流会館

(5) 外国人への防災情報提供

ア ラジオ番組「BOUSAI RADIO」による防災情報の提供

地震や台風など災害に関する防災情報をFMとやま「BOUSAI RADIO」において母国語で提供する。

毎月第1土曜日 午後9時55分から5分間（やさしい日本語、中国語）

毎月第3土曜日 // （ポルトガル語、英語）

イ 外国人への防災スポット放送事業

災害時における外国人支援ボランティアの募集や防災訓練の案内等について多言語（日本語、英語）で広報する。

40秒のスポット放送を1局当たり18回放送

時 期 6月、8月、9月頃予定

北日本ラジオ、FMとやま

(6) 災害時の外国人支援のための防災訓練事業

災害時に外国人住民を支援する人材の育成を図るとともに、大規模災害を想定した「災害時多言語支援センター」等の運営訓練を実施する。

ア 災害時外国人支援（やさしい日本語）ボランティアの養成

災害時における「やさしい日本語」による情報提供等研修会の実施

時 期 6～7月 場 所 県内日本語教室4か所

参加者 日本語教室運営日本人サポーター 約20名、外国人参加者 約20名

イ 災害時外国人支援（多言語）ボランティアの養成

災害時における「多言語」での通訳、翻訳による情報提供研修会の実施

時 期 7月 場 所 環日本海交流会館

参加者 国際交流人材バンク登録者等 約20名

ウ 広域連携による防災研修（石川県及び石川県国際交流協会と共同実施）

大規模災害時における石川県と連携した「災害時外国人支援防災研修」の実施

時 期 8月 場 所 富山県

参加者 災害時外国人支援ボランティア養成者等約20名、外国人参加者 約20名

エ 富山県総合防災訓練への参加

富山県総合防災訓練において「災害時多言語支援センター」等運営訓練の実施

時 期 9月 場 所 富山県内

参加者 災害時外国人支援ボランティア養成者約15名、外国人参加者 約15名

新（7）外国にルーツをもつ子供のための日本語ボランティア講習会

外国にルーツをもつ子供たちの学校教育に関する現状を紹介するとともに、学習支援ボランティアの育成を図るための講習会を開催する。

時 期 10月 場 所 環日本海交流会館

参加者 日本語ボランティア、子供を持つ外国人住民など 約30名

4 国際理解・研修事業

計画額 4,066千円

（1）語学講座の開催

講座名	コース名	定員	対象者	時期・回数
中国語講座	入門	30名	一般	5月から3月まで 毎週1回 年間35回
	初級	30名		
	中級	15名		
韓国語講座	入門	40名		
	初級	40名		
	中級	30名		
ロシア語講座	入門	15名		
	中級	15名		
ポルトガル語講座	初級	15名		

（2）国際理解出前講座

地域の国際交流協会や小中高校、大学などからの要望に応じて現場へ出向いて講座を開催し、国際交流・国際理解・国際協力を促進する。また、国際理解出前講座を案内するチラシを作成し、関係機関に配付して広報PRに努める。

講 師 国際交流員、JICA職員、とやま国際理解教育研究会、青年海外協力隊OBなど

(3) 国際交流サロン イングリッシュ・チャット

県民と県内で暮らす外国人ゲストが自国の文化や日頃感じていることなどを英語で自由に語り合う。

時 期 毎月第1、第3水曜日 夜7時から90分程度 場 所 とやま国際センター談話室

(4) とやま国際塾

各国からの国際交流員、海外技術研修員、留学生等との交流を通じて、高校生の国際感覚の醸成を図るとともに、国際交流、国際協力や多文化共生に関心を高めてもらう。

時 期 7月18日(土)～19日(日) 定 員 30名 場 所 呉羽青少年自然の家

(5) 市町村職員等国際協力実務研修

時 期 6月上旬 場 所 環日本海交流会館

5 情報サービス事業

計画額 2,244千円

(1) 情報紙の発行

ア 「What's Happening」

内 容 県内で開催される各種国際交流イベントや国際交流事業等を紹介

発行言語 英語、韓国語、ポルトガル語、ロシア語、中国語、日本語

発行部数 隔月 2,100部

イ 「TIC NEWS」

内 容 県内の国際交流・国際協力に関する情報、国際交流団体の活動、海外からのレポート、とやま国際センターの事業等を紹介

発行部数 年4回 各2,000部

(2) 国際交流人材バンク

通訳・翻訳・日本語指導・ホームステイ受入れ・海外事情の紹介、災害時外国人支援ができる人材の登録と紹介を行う。また、通訳者を対象としたレベルアップのためのセミナーを開催する。

6 環日本海交流会館管理運営事業

計画額 10,985千円

施設管理運営費

県民と外国人の交流の場、国際交流団体やボランティアの自主的な活動の場、留学生や研修生等の活動の場として運営する。

所在地 富山市内幸町6-6

施設概要 会議室・研修室

交流サロン

ボランティア室(図書閲覧・貸出 約6,000冊)等

開館日・時間 月～金曜日(水曜日を除く) 10:00～21:00

土・日曜日 10:00～17:00

7 富山県大連事務所運営事業

計画額 31,124千円

本県の中国における活動拠点として富山県大連事務所の運営を行う。

職 員 常勤4名

所長(県派遣職員)、副所長(県内企業派遣職員)、現地採用職員2名

Ⅱ 日本海学推進事業

計画額 8,558千円

(1) 日本海学講座

一般県民を対象に大学教授等の研究者による日本海学に関する講座を年4回開催する。

時期：7月、9月、11月、1月 場所：富山市、高岡市

(2) 日本海学シンポジウム

一般県民を対象に日本海や環日本海の理解を深めるためのシンポジウムを年1回開催する。

時期：平成28年2月 場所：富山市

(3) 大学講座等推進事業

富山大学 「総合科目特殊講義－日本海学－」に講師を3回派遣する。

富山国際大学 「環境デザイン特別講義」に講師を3回派遣する。

富山県立大学 「富山と日本海」の講義に講師を2回、「環境論Ⅰ」の講義に講師を1回派遣する。

(4) 日本海学研究グループ支援事業

日本海学に関する研究、普及・実践活動に取り組む個人、グループ、団体に対して助成する。

(5) 環日本海学術ネットワーク特定テーマ研究支援事業

富山大学極東地域研究センターが行う「変動の時代における北東アジアの地方間交流のあり方」をテーマとする調査研究活動に助成し、その成果を広く県民に普及する。

新(6) 富山湾魅力体験親子教室

富山湾の魅力を親子で体験するために、富山湾上で（富山高等専門学校実習船「若潮丸」に乗船）海洋教室を開催する。

時期：8月 対象：小3～中3（小学生は原則保護者同伴）

Ⅲ 旅券関係事業

計画額 42,248千円

旅券の発給申請の受理及び交付事務の補助業務を行う。

名称	富山県旅券センター	富山県旅券センター高岡支所
所在地	富山市桜町1丁目1番61号(マリエとやま7階)	高岡市御旅屋町101番地(御旅屋セリオ7階)
受付時間	月曜日から金曜日 申請・交付 9:00～16:30 ただし、交付は火・木に限り19:00まで 日曜日 交付のみ 9:00～16:30	月曜日から金曜日 申請 10:00～16:30 交付 10:00～17:30 日曜日 交付のみ 10:00～17:30
閉庁日	土曜日・祝日及び年末・年始（12月29日から1月3日）	